

ご存じですか！文化財

100

「南大桑の獅子舞」

市指定無形民俗文化財 昭和35年9月8日指定



問合せ
生涯学習課
(0480)62・1223



所在地 南大桑3478

は見応えがあります。
この獅子舞は、市内北小浜や多門寺の獅子舞と同系統ともいわれ、歌方による歌や演目が類似しています。しかし、保存会によると、笛の旋律が似ているが太鼓の拍子が異なるということです。

昭和30年代までは多くの人出で賑わった獅子舞も、昭和40年代中頃には後継者不足で中断を余儀なくされました。

昭和54年に復活しましたが、今日また深刻な後継者不足に直面しており、後継者を育成することが重要な課題となっています。

なお、動画は、「かぞインターネット博物館・民俗」でご覧になれます。

南大桑の獅子舞は、門井家、が天保14(1843)年に、隣接する雷電神社に奉納したことに始まるといわれます。雷電神社は、同家が屋敷を広げる際に、現在地に移築されたものです。獅子舞は、春の例祭(4月15日に近い日曜日)にあたり、家内安全・五穀豊穡などを祈願して奉納されます。奉納は、大獅子、雌獅子、中獅子の3匹と道化、それに笛方、花笠、歌方(現在はいない)によるもので演目は、「橋」「花」「綱」「蛇」があります。その中でも紙で作られた超絶技巧で紙の蛇を飲む「蛇」

